

オオチャイロハナムグリ

兵庫県：B

Osmoderma opicum

環境省：準絶滅危惧 (NT)

種の概要

体長26.3～36.1mm。背面は鈍いつやのある黒褐色で、前胸背板中央には1対の縦隆起がある。針葉樹、広葉樹を問わず古木の樹洞で発生し、その付近で活動する。成虫はある種の芳香を放つことが知られている。成虫は7～9月に出現し、主にブナ帯に生息する。



写真提供：森正人

国内分布

本州、四国、九州、屋久島

県内分布記録

神戸市、宍粟市、養父市、新温泉町、西宮市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
			○		○

特記事項

その後の調査では氷ノ山周辺で確認されている。最近になって、西宮市の都市域での記録が公表され、注目されている。

保護上の留意点

洞のある大径木の保全